

平成 23 年 10 月 15 日  
株式会社ウチダ和漢薬

## 漢方薬の自主回収通知に関する報道について

平成 23 年 10 月 15 日付け一部報道において、漢方薬の一部の原料から放射性セシウムが検出されたため厚生労働省が自主的に回収するよう通知したとの記事が掲載されました。

このことについては、厚生労働省の報道発表資料として次のとおり厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001rnjy.html>)に掲載されています。

- 日本製薬団体連合会が、漢方生薬製剤の原料に用いる国産生薬の集荷繁忙期（11月以降）を前に、会員への注意喚起や放射能対策強化のため、傘下の日本漢方生薬製剤協会が3月以降に検査計画等17都県からの原料生薬の放射性物質を検査してきた状況とその結果を自主的にとりまとめた。
- とりまとめ結果では、9生薬23検体から放射性セシウムが検出された（うち、食品衛生法の暫定規制値500Bq/kgを超える3生薬9検体）。
- 現在製品化されているものは、3月以前に産出された原料生薬を使用しているため、3月以降17都県の原料生薬は、1製品を除き、製品には使用されていない。
- その1製品も原料生薬から放射性物質は検出されていない（出荷された製品は調剤用生薬（ボクソク）であり、ゲルマニウム半導体検出器で放射性セシウムが検出限界以下（ND <20Bq/kg）である）。
- 厚生労働省は、念のため、全国の医薬品の製造販売業者等に自己点検を求め、3月以降に17都県で産出した原料生薬を用いて製造した医薬品製剤を出荷していたときは、自主的に回収し、厚労省に報告する。

以上

3月以降17都県の原料生薬で、放射性物質が検出された生薬は製品には使用されておらず、また、たとえ高精度な分析検査機器を用いて「検出しない」と判断された生薬であっても、現時点では医薬品への使用を控える内容であり、食品の暫定規制値（放射性セシウム500Bq/kgを超えない）に比べて極めて厳格なものです。

放射性物質が検出された生薬が使用されているという状況はございませんので、今後ともご安心して生薬ならびに漢方製剤等をお取り扱いいただけますようお願い申し上げます。